



## 児童クラブ元支援員・芹沢さん 富士に支援ルーム

富士市で長く放課後児童クラブの支援員を務め、カウンセラー資格を持つ芹沢芳子さん(56)が同市の自宅に「子育て支援カウンセリングルーム まなざし」を開設した。子どもや保護者の相談に個別に応じ、定期開催する「サロン」では、さまざまな立場で子どもと関わる人たちの交流機会を創出する。

# 子育て関わる悩み 分かち合う機会を

6月、子ども関連の仕事をする人を対象にしたサロンに、同市の放課後児童支援員3人が参加した。「発達が気になる児童への声掛けの仕方に悩んでいる」「外国籍の保護者とうまくコミュニケーションが取れない」。それぞれが抱える課題を共有し、互いに助言し合った。

幼稚園教諭や保育士の経験もあり、放課後児童クラブの支援員を18年間務めた芹沢さん。「子どもと関わる現場では悩みが尽きない。前向きに子どもや保護者と向き合うためには、職場以外に相談し合える場が必要」とサロンの目的を語る。

サロンは、子ども支援に携わる人のほか、子育て中の保護者、孫育て中の祖父母など対象者を変えて木曜と土曜に開く。放課後児童クラブなど子ども支援の現場を訪問し、運営上の課題解決について一緒に考える活動にも取り組む。

9、10月(土曜午前)には

オンラインを活用して、教育、福祉関係者や保護者が交流できる全5回の研修会を予定する。芹沢さんは「さまざまな立場で子育てに関わる人の視点を知る機会は、より多面的に子どもを理解することに役立つ」と力を込める。メールは [vokko-ya@kai.nc.ne.jp](mailto:vokko-ya@kai.nc.ne.jp)。

(大滝麻衣)



放課後児童クラブの支援員たちが日頃の困り事などについて情報交換した「サロン」。芹沢芳子さん(右端)が進行役を務めた

|| 富士市